



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第3回例会(7月20日)
平成24年7月27日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)
FAX(653)5622
例 会 日 毎週全曜日12時30分～

会 長 藤村 文昭
幹 事 佐藤 重昭
会 報 福田 莊介
クラブ直通電話 TEL(653)5682

奉仕を通じて平和を Peace Through Service..... RI会長 田中作次

会員卓話

「長寿写真撮影ボランティア事業」



(株)ヒヤマフォトスタジオ代表取締役

樋山 桂 君

当事業について

本日は、弊社が行っております「長寿写真撮影ボランティア事業」を通じて、地域への社会的貢献についてお話をさせていただきたいと思っております。

弊社「ヒヤマフォトスタジオ」では、私の父である先代が、今から23年前の平成元年から、ご老人のご自宅を訪問して普段の自然なポートレートを撮影し、敬老の日に「長寿のお祝いに」ということで贈呈させていただく「長寿写真撮影ボランティア事業」を始めさせていただきました。

趣旨とその対象者など

この事業の趣旨といたしましては、企業として、この盛岡で商売をさせていただいている以上、何か地域にお返しできないか？ということが、事の発端であります。

また、弊社は「写真撮影」を生業とする企業でありますから、「写真」で何かお返し出来ないかと考えました。

そしてその対象を、ご年配のお爺様・お婆様方ということといたしました。その理由といたしましては、今の我が国があるのは、戦後荒廃した「日本」を復興させ、今の社会を築き上

げた先輩方の努力があったからこそと考え、その事への感謝として、先輩方に敬意を表して一部の方々への限定にはなりますが、始めさせていただきます。いただいた訳であります。

当事業を行う時期とその理由

当事業の、活動時期は、毎年7月～8月に撮影をおこなっております。

これは「敬老の日」に合わせて贈呈したいという事と、私共の業務が比較的暇な時期に当たる「夏の閑散期」という理由であります。

協力者について

また、活動に際しましては、弊社単独では困難な部分も多いため、盛岡市社会福祉協議会にご理解をいただき、地域でご老人のご自宅を訪問し、お世話をしているらっしゃる、民生委員の皆様にご協力をいただいております。

募集に関しては、社会福祉協議会から各地域の民生委員の皆様を通じ募集を募り、撮影予定の連絡も間に立っていただき、またほとんど撮影時に同行していただいております。

そして贈呈に関しても民生委員の皆さんを通じ、それぞれの対象のお爺ちゃま、お婆ちゃま



にお渡しいただいております。

スタート当初の対象年齢と希望社数について

対象年齢は、スタートした平成元年当初は80歳でしたが、年々ご希望の方が増えまして、ピーク時では、平成6～7年頃は、250～300名を撮影いたしました。

その頃は、弊社も業績もお蔭様で良かったため、社員で5チームほどを編成した記憶があります。

しかし、毎年のご希望数の増加に対応できず、やむなく徐々に対象年齢を上げざるをえず、また先着人数を決めて締め切らせていただく形といたしました。

近年も、翌年までお待ちいただくことが増えてしまいまして、無理をしてまで行くと、ボランティアという意識のモチベーションが保てなくなると考えましたので、弊社の出来る範囲で、そして何よりも「この活動を継続をすることを第一」に考え、現在は毎年100名～120名ほどにさせていただいております。

現在の対象年齢と撮影人数等

現在の対象年齢は89歳以上であります。

実際は、ほとんどが90歳台の方であります。が、募集対象は89歳以上であります。

また本年は、昨年からお待ちいただいている方みの撮影とし、新規の受付は来年からあらためて行うこととしております。ちなみに本年は112名を予定しております。

また、参考までに、昨年23年目までの通算撮影人数は「3,712名」であります。(1年で割りますと、@161名)

弊社としての地域への社会貢献の考え方

昨今、「CRS」という言葉が良く使われます。この“CRS”とは、

- ・ Corporate Social Responsibility
- ・ Corporate (コーポレート：法人)
- ・ Social (ソーシャル：社会的)
- ・ Responsibility (レスポンシビリティ：責任)

の頭文字をとった表現で、日本語では「企業の社会的責任」と一般的に言われております。

たとえば、メーカーでいえば良質安価な製品やサービスの提供、雇用の創出税金の納付、などが挙げられますが、その様な言われ方は近年のことだと思っておりますので、当然弊社においてのこの活動は、CRSというようなことを考えて行ってきたわけではなく、自発的におこなってきた活動です。

それなるべくあえて公表する様な宣伝目的のものでは決してありませんし、冒頭に申し上げました通り、ただただ、純粋に地域への恩返

しという意味での活動であります。

しかし、当初は同業者より「偽善者扱い」をされる事もありました。

この事業での内部でのメリット

この活動の中には、社員教育に生かされる部分も数多くございます。

特に若い社員が、地域のご老人たちと触れ合いながら撮影をし、接客とはまた違うコミュニケーションの取り方を体験したり、独居老人のお宅を訪問したときなどは、その現状を間の当たりにし、老人福祉について考えるきっかけになってみたり、行政について考えるきっかけにもなります。

通常の業務の中では学ぶことの出来ないいわゆる社会勉強であります。

自分の経験談など・・・

私自身も、現在は経営者としての比率が高いですが、実際にこの「長寿写真」の現場に数年間出ている経験がありますので、私の体験を少々お話をさせていただきますが…。

・「喪服を着せられていたおばあちゃんとその家族が待っていたときの話。」

これは趣旨を勘違いされておまして、その場で改めて趣旨をお話いたしましたし着替えていただき、何気ない普段のお写真を撮影いたしました。

結果的に「さりげない自然な写真」で喜んでいただき、その様な（葬儀用）写真にお使いになって頂ける事は多いと聞いておりますが、これは光栄な事でもございますが…あくまでも長寿のお祝いの写真でございます。

・「盛岡市からお金をもらってやっている事業と勘違いされた。」

これは、民生委員の方自体が勘違いされている事が多く、毎年社会福祉協議会での贈呈式にて趣旨を含めご理解を頂いております。

・次のお宅に行くスケジュールが詰まっている中で、出していただいたアイスクリームを遠慮

したところ、「若いもんは遠慮せずに食べなさい！」とおじいさんに怒られた話。（昔の大事な教え）

・「戦時中の航空隊の貴重な体験を、当時の写真を交えてお話を聞いたこと。」（貴重な体験話、特攻隊を送り出す、特攻前夜の宴席の話など）

・趣味の書道の作品が部屋いっぱい敷き詰められた中での撮影。（西青山の元教師をされていたおばあちゃん）

・変化の無い日常にやってきた孫のような若いカメラマンとの会話を楽しんで心から喜んでくれた事。（独居老人宅）

・民生委員の方々と接する中で、そのご苦労が身にしみて分かった話。

特にも独居老人をお世話している方。今では介護という事が普通になり、現在ヘルパーさんがやっていることまでも、地域によっては民生委員さんが行っていた。

最後に・・・

ここまで、弊社で23年間行ってきております「長寿写真撮影ボランティア事業」についてお話ししてまいりましたが、先程出てまいりました「CRS」という意識などは持たず行っておりますが、結果的にその様な形になっているかも知れません。

一昨年、TVI様に取り上げていただいた際に、メディアを通じて発信させていただいたメッセージは、「身近に社会貢献できる事はたくさんある」という事と、少しでも多くの方に関心を持っていただきたいという事を申し上げました。

最後に少し話はそれますが、地域の企業が利益を上げ、地域に納税をし、雇用を創出して貢献することが本来の理想の姿だと考えますが、以前、税理士さんから聞いた話をさせていただきますと、これまでの日本経済について考えたとき、高度成長期、全国の中小企業の7割は黒字経営で、税理士の役割は「無駄な税金を払わずに節税をするための相談に乗ること」だった

そうです。

そして、バブル後はというと、日本の中小企業の5割が黒字経営、5割が赤字経営となり、さらに現在の全国の中小企業の現状はというと、3割黒字経営、7割が赤字経営というのが現状です。

そして、税理士の現在の役割はというと「財務や会計のアドバイスをし、適正な利益を上げられるような経営の手助けをする事」だそうであります。

夢や思いだけでは、経営をすることが難しい現代、いかにして適正で堅実な経営をし、社員とその家族の生活を守り、利益を上げて地域に

納税し、企業として出来る限りの「地域への社会的貢献」をすることが理想ではありますが、今私たちに与えられている課題ではなかろうかと思えます。

また、実際に理想通り出来ている中小企業は、3割程度かと思えますが、弊社も本年度は、何とか3割の組に入れそうであります。理想の地域貢献が実践できるよう、今後も努力してまいります。

以上で、私の卓話を終わります。ご清聴、誠にありがとうございました。

例会報告

第3回例会
平成24年7月20日(金)

- 於川徳 12時30分 開会点鐘
- ・司会 藤村文昭会長
- ・ソング それでこそロータリー
- ・会長報告 藤村文昭会長
- ・入会祝 高橋真裕君。
- ・幹事報告 佐藤重昭幹事

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡北R.C.=8月15日(水)は特別

休会。8月22日(水)は納涼会のため18:30~マリオス20階「スカイメトロ」。

- 盛岡西R.C.=8月9日(木)は納涼会のため18:30~に時間変更。8月16日(木)は特別休会。

【ニコニコBOX】

- ◆福井誠司君…そばをサービスして頂いたお姉さまから「久しぶりですね!!」と声をかけられたので嬉しくて、そして反省の意をこめてニコニコします。
- ◆熊谷昭三君…平井冽先輩のご逝去に心が痛みます。昭和32年6月、

同期入会の東元淑さん、巖重右工門さん、そして平井さんと皆、他界され、私一人になりました。年令の順とはいえ、寂しい限りです。あと何年頑張れますか？

●メークアップ

盛岡北R.C.=平井(滋)、白石君。盛岡西R.C.=菊池君。盛岡中央R.C.=川村(登)君。クラブ委員会=吉田(育)君。

出席報告 □ 会員数 /60名 □ 出席数 /34名 □ 出席率 /62.97% □ 前々回修正出席率 /84.62%

プログラムの
お知らせ

- ・7月26日(木) ガバナー公式訪問・納涼会(27日例会変更)
- ・8月3日(金) ゲスト卓話 藤井 茂氏(勲新渡戸基金 事務局長)
「新渡戸稲造はなぜ『武士道』を書いたのか」
- 10日(金) ゲスト卓話 田村正彦氏(八幡平市 市長)
「農と輝の大地・八幡平市実現のために」
- 17日(金) 特別休会
- 24日(金) ゲスト卓話 草野 悟氏(岩手県中核観光コーディネーター)
「未定」
- 31日(金) 新入会員卓話 嘉本孝志会員
「未定」

- 本号編集担当 / 加藤 正幸
- 次号編集担当 / 川村 宗生